



## 当たり前前の「今」を守るために ～水をたいせつに～

炊事、洗濯、掃除などわたしたちは生活の様々な場面で水を使用しています。

じゃ口をひねると水が出てくる、そんな当たり前前の「今」を守るために、わたしたちが受け継いできた、水をたいせつに使う心がけを次の世代につなげて行きましょう。



### 2度の大洪水を経験

昭和53年と平成6年に、福岡市は給水制限が約300日にもおよび大洪水を経験しました。

～昭和53年大洪水の様子～



前年からの少雨が続き、ダムは枯れ、湖底が見える状態でした。

◀南畑ダム



市内各所で断水を余儀なくされ、給水車を待つ長い列ができました。

### 6月1日は「節水の日」

昭和53年の大洪水では、6月1日から6月10日まで、給水制限が一番厳しくなり、じゃ口からは1日5時間しか水が出ませんでした。

福岡市では、この期間の初日である、6月1日を「節水の日」と定め、毎年、水のたいせつさを呼びかけています。



節水の日街頭キャンペーン

★平成29年6月1日(木)は8時30分より、西鉄天神駅及びJR博多駅周辺で街頭キャンペーンを実施します。

### 福岡市民全体の「高い節水意識」

90.9%

平成28年度市政アンケートでは、90.9%が「節水に心がけている」と回答し、全国値80.5% (内閣府 平成26年「水循環に関する世論調査」と比べても、高い値となっています。

### 市内で使う水 約1/3は筑後川から 8つのダムのうち5つは市外

じゃ口の向こうでは、水源地域とつながっています。水をたいせつに使う心がけとともに、水源地域への感謝の気持ちを忘れずに。

浄水場の見学者を募集します



水道ボーイ フクちゃん

浄水場で水道水ができるまでの仕組みを一緒に学んでみませんか？

期間／6月1日(木)～6月7日(水)  
時間／①10時～11時半 ②13時～14時半  
定員／各回20人(先着順)

申込方法／5月15日(月)から5月19日(金)までに、見学希望の浄水場へ電話またはFAX

施設見学



実験



■お問い合わせ・お申込み先

乙金浄水場	大野城市乙金台3丁目12-1	TEL 504-1031	FAX 504-3004
多々良浄水場	糟屋郡粕屋町大字戸原679-1	TEL 938-4810	FAX 938-7684
夫婦石浄水場	南区大字松原853-6	TEL 862-2589	FAX 862-9030
瑞梅寺浄水場	糸島市山北5-2	TEL 323-8441	FAX 323-8442

(高宮浄水場は場内整備工事のため見学を受け付けておりません。)

※FAXには、見学希望日時、人数、代表者氏名、連絡先を記入してください。参加の可否については、折り返しお電話でご連絡します。

※浄水場内での飲食はできません。現地集合、現地解散となります。小雨決行です。